

STITCH HOTEL Kyoto

1. 利用規約(日本語)
2. 宿泊約款(日本語)
3. Hotel Regulations
4. Terms and Conditions for Accommodation Contracts
5. 使用規則
6. 住宿协议
7. 이용 약관
8. 숙박 약관

利用規則

STITCH HOTEL Kyoto

お客様に、安全かつ快適にお過ごしいただくため、宿泊約款第10条に基づいて、次の通り利用規則を定めておりますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。この規則をお守りいただけないときは、やむを得ずご宿泊ならびに当ホテル内諸施設のご利用をお断り申し上げ、かつ当ホテルが被った損害のご負担をいただく事もございますので、特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

1. 客室のご利用について

- 1) 客室からの避難経路図は、各客室ドア設置の案内板に表示しておりますので、あらかじめご確認ください。
- 2) ご宿泊登録者以外の方のご宿泊はご遠慮ください。
- 3) 18歳未満の方の単独のご宿泊は、お断りさせていただきます。宿泊日の前までに保護者の方から「宿泊同意書」をご提出いただいた場合に限り認めております。また、心身耗弱、薬物、飲酒等により理性を失うなどして、他のお客様に不安と迷惑を及ぼす行為もご遠慮ください。
- 4) 長期のご宿泊利用により居住に関する法律上の権利が発生することはないことをご了承ください。
- 5) 限りある資源を大切に使うため、節電・節水等にご協力をお願いいたします。

2. ルーム(カード)キー

- 1) ご滞在中、お部屋から出られる際は、客室のカードキーをお持ちになり、必ず施錠をご確認ください。
- 2) ご在室中およびご就寝の際は、必ず「ドアラッチ(かけがね)」をおかけください。
- 3) 客室のルーム(カード)キーを紛失された場合には、再作成費用として実費をご負担いただきます。
- 4) お部屋のカードキーは、当ホテル出発の時必ずフロントへご返却ください。

3. 来訪者

- 1) ご訪問客とのご面会はロビーでお願いします。
- 2) ドアをノックされた時は、「ドアラッチ(かけがね)」をかけたままドアを開けるか、ドアスコープでご確認ください。

4. 客室内

- 1) 当ホテル内の暖房用、炊事用等の火器(客室内設置の火器を除く)およびお持ち込みのアイロン等
はご使用にならないでください。
- 2) 喫煙が可能であることが明示された客室を除き、客室内での喫煙(加熱式タバコ、電子タバコを含む)は固くお断りいたします。喫煙が可能であることが明示された客室以外の客室での喫煙が確認された場合、客室のクリーニングに要する費用として、当ホテル所定の金額を申し受けます。
- 3) 当ホテルの許可なく、客室を営業行為・事務所・パーティ等、宿泊以外の目的で使用しないでください。
- 4) 当ホテルの許可なく、客室内の備品を移動したり、客室内に造作を施したり、あるいは改造したりしないでください。
- 5) 客室内の備品は、客室外に持ち出さないでください。
- 6) 客室の窓に写真、ポスターを貼付するなど、当ホテルの外観を損なう物を窓側に置かないでください。
- 7) ユニットバス内での染毛・漂白剤等は使用しないでください。

5. 貴重品

貴重品や高価な物は、必ずご自身で管理されるようお願いいたします。

6. お預かり物・お忘れ物

お預かり物の保管期間は、3日間とさせていただきます。保管期間内にお引き取りにならない場合、お客様がその所有権を放棄したものとみなし、当ホテルが自由に処分できるものとします。これに対して、お客様は異議を申し立てることができないものとします。

お忘れ物の保管期間は、発見日を含めて3日間とさせていただきます。その後最寄りの警察へ届けます。ただし、消耗品や飲料、食品類その他衛生環境を損なう物、新聞・雑誌、傘、その他当ホテルで廃棄されたと判断したものは、即日処分いたします。

7. 遺失物

遺失物は、法令に基づいて対応させていただきます。

8. お会計

- 1) ご利用代金のお支払いは、現金、または当ホテルが認めたご利用券、宿泊券、クレジットカード等、もしくは当ホテルが認めたそれに代わるもので行っていただきます。
- 2) お会計は、ご到着またはフロントよりご請求をさせていただいた際にフロントにてお支払いください。
- 3) ご宿泊以外の方からご利用代金のお支払いを受けることになっている場合、定められた期日までにお支払がなければ、ご宿泊者ご本人に直接お支払いをご請求する場合がございます。

- 4) お買物代、切符代、タクシー代、郵便切手代、荷物送料等のお立替えはお断りさせていただきます。

9. 朝食券

ご利用にならなかった朝食券については、返金および払い戻しには応じません。

10. 優待券・割引券

当ホテルが発行する優待券・割引券等の返金および払い戻しには応じません。

11. 当ホテル内での迷惑行為

当ホテル内では他のお客様への迷惑になる下記の物品の持ち込み、または行為等をご遠慮ください。

1) 次のもののお持ち込み

- a. 犬・猫・小鳥等の動物・ペット類全般(ただし盲導犬、介助犬、聴導犬はこの限りではございません)
- b. 発火または引火しやすい火薬や揮発油類および危険性のある製品
- c. 悪臭および強い匂いを発する物
- d. 許可証のない鉄砲・刀剣類
- e. 著しく多量のお荷物および物品
- f. その他法令で所持を禁じられているもの

- 2) 賭博・威圧的な言動・風紀を乱す行為、または他のお客様に嫌悪感を与え、もしくは迷惑になるような言動
- 3) 下駄、雪駄、ローラースケート、ローラースケートでの入館
- 4) 備付品の移動、または使用目的以外のご利用、客室以外の場所での所持品の放置
- 5) 広告宣伝物の配布、物品の販売、勧誘
- 6) 当ホテルが別途認める場合を除き、当ホテル外から出前をとるなど、飲食物を持ち込む行為
- 7) 喫煙が可能であることが明示された客室または館内の喫煙スペース以外の場所での喫煙(加熱式タバコ、電子タバコを含む)
- 8) 朝食の飲食物の持ち帰り(持ち帰り可能なものを除く)
- 9) 館内および敷地内で他のお客様のご迷惑になるような写真・動画撮影
- 10) 当ホテルの許可なく、当ホテル施設内において営利・非営利を問わず事業の用に供する目的で写真・動画を撮影すること、または当ホテル施設内で撮影された写真・動画等を営利・非営利を問わず事業の用に供する目的で公にすること

12. 次に掲げる組織、個人については、当ホテル内諸施設のご利用をお断りいたします。

- 1) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」に定める指定暴力団および指定暴力団連合またはその構成員、関係者、その他の反社会的勢力(以下「反社会的勢力」といいます)
- 2) 反社会的勢力が事業活動を支配する法人その他の団体の関係者
暴行、傷害、脅迫、恐喝、威圧的不当要求またはこれに類する行為を行ったと認められる場合
- 3) 心神耗弱、薬物等による自己喪失等によりご自身の安全確保が困難であり、他のお客様に危険や恐怖感、不安感を及ぼす恐れがある者

- 4) 当ホテルの利用規則およびその他の規則等の違反について、当ホテルより注意を受けたにもかかわらずただちにその行為を止めなかった者

13. 規則の変更について

- 1) この規則は民法上の定型約款に該当し、この規則の各条項は、宿泊約款第19条の規定に基づいて変更することがあります。
- 2) この規則の変更は、規則を変更する旨および変更後の内容ならびにその効力発生日について、効力発生日の1ヶ月前までに、個別の通知 および説明に代え、当ホテルの指定するウェブサイトに掲示し、掲載の際に定める効力発生日から適用されます。なお、同時に客室内にも備え置きます。

以上

制定日：2025年6月30日
STITCH HOTEL Kyoto

宿泊約款

STITCH HOTEL Kyoto

第1条(適用範囲)

当ホテルがお客様との間で締結する宿泊契約およびこれに関連する契約は、本約款の定められるところによるものとし、本約款に定めのない事項については、法令または一般に確立された慣習によるものとし

す。当ホテルが法令および慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約を優先するものとします。

第2条(宿泊契約の申込)

当ホテルに宿泊契約を申込しようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- 1) 宿泊者名
- 2) 宿泊日および到着予定時間
- 3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による)
- 4) その他当ホテルが必要と認める事項

2 前項に基づき当ホテルに申出のあった内容に変更を生じたときは、変更後の内容をすみやかに当ホテルに申し出ていただきます。

3 お客様が、宿泊中に第1項(2)の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込があったものとして処理いたします。

第3条(宿泊契約の成立等)

宿泊契約は、当ホテルが前条の申込を承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項により宿泊契約が成立したときは、当該宿泊契約にかかる全宿泊期間分の宿泊料金を、宿泊開始前または当ホテルが指定する日までにお支払いいただきます。

3 次の各号に定める事由が生じたときは、当ホテルは、当該お客様にかかる申込を、実際には宿泊する意思がないにもかかわらず申込がなされたものとして取扱うことができるものとし、宿泊契約はその効力を失うものとします。

- 1) 前項の宿泊料金を同項の定めにより宿泊開始前または当ホテルが指定した日までにお支払いいただけないとき。
- 2) 前条第1項に基づき申出のあった連絡先への連絡を試みても、最初の連絡をした日から起算して10日以内(ただし、宿泊日当日までの日数がこれに満たない場合は、宿泊日当日の15時まで)に連絡がとれないとき。
- 3) 当ホテルからの連絡を拒否されたとき。

4 前項(2)および(3)に該当する場合、受領済みの宿泊料金の返還はいたしかねます。

第4条(申込金の支払いを要しないこととする特約)

前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申込を承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合および当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取扱います。

第5条(宿泊契約締結の拒否)

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- 1) 宿泊の申込が、この約款によらないとき。
- 2) 満室のとき。
- 3) 災害その他の緊急事態の発生等により、被災者および災害復旧担当者等のため優先的に客室を提供すべきことが現実に予定されるなど、前号に準ずる事由のあるとき。
- 4) 宿泊しようとする者が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律および暴力団排除に関する都道府県条例に定める暴力団もしくは暴力団関係団体その他反社会的勢力の構成員またはその関係者であるとき。
- 5) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められる場合。
- 6) 宿泊しようとする者が特定感染症の患者等であるとき。
- 7) 宿泊に関し、その実施に伴う負担が過重であって他のお客様に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害する恐れのある要求として、厚生労働省令で定めるものを繰り返したとき。
- 8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- 9) 宿泊しようとする者が、他のお客様に迷惑を及ぼし、もしくは当ホテルの運営を阻害するおそれがあるとき、または他のお客様もしくは当ホテルの従業員に対し、迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- 10) 宿泊しようとする者について、心身の不調が明らかに認められる状態であるとき。
- 11) 保護者の許可のない18歳未満の者のみが宿泊するとき。
- 12) 宿泊する権利を他に譲渡する目的で、宿泊の申込をしたとき。
- 13) 実際には宿泊する意思がないにもかかわらず、宿泊の申込をしたとき。
- 14) その他、各種法令または都道府県条例等の規定する宿泊を拒むことができる場合に該当するとき。

第6条(お客様の契約解除権)

- 1) お客様は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2) 当ホテルはお客様がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部または一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前にお客様が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げることにより、違約金を申し受けます。ただし当ホテルが第4条第1項の特約に応じるにあたり、お客様が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルがお客様に告知したときに限ります。
- 3) 当ホテルは、お客様が連絡をしないで宿泊日当日の午後11時30分(到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約をお客様により解除されたものとみなし処理することがあります。

第7条(当ホテルの契約解除権)

当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。

- 1) お客様が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律および暴力団排除に関する都道府県条例に定める暴力団もしくは暴力団関係団体その他反社会的勢力の構成員またはその関係者であるとき。
- 2) お客様が、当ホテル内で、暴行、脅迫、恐喝、不当な要求、賭博行為、法令で許可されていない薬物、銃砲、刀剣類およびこれらの類似品の所持もしくは使用、他の利用客に迷惑を及ぼす行為、その他法令もしくは公序良俗に反する行為をし、またはこれらの行為をするおそれがあるとき。
- 3) お客様が特定感染症の患者等であるとき。
- 4) 宿泊に関し、以下に定める行為を行ったとき。

- a. 事前に予約された人数を超えるお客様により客室を利用し、または利用を要求する行為
- b. 社会通念上受忍限度の範囲内と認められる事実、または真偽が明らかでない事実を理由とする宿泊料の免除もしくは減額の要求行為、または客室変更の要求行為
- c. 粗野または乱暴な言動その他当ホテル従業員の心身に不安または恐怖を感じさせる言動を繰り返す行為当ホテルにおいて通常提供するサービス内容を超える接遇を要求する行為
- d. 客室および当ホテル内の施設の適切な使用方法について、当ホテル従業員による繰り返しの要請にもかかわらず、当該要請に応じない態度を表示する行為
- e. 客室および当ホテル内の施設、家具、寝具、備品、装飾品を故意または重過失により破損もしくは汚損し、または不正に窃取する行為
- f. 法律上の義務の範囲を超えた過剰な要求行為(当ホテルの過失を原因とするものを含む)
- g. 前記のほか、その実施に伴う負担が過重であって他のお客様に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害する恐れのある要求として、厚生労働省令で定めるものを繰り返す行為

- 5) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- 6) 客室での寝タバコ、消防用設備等に対するいたずら等、火災予防・防火に支障を及ぼす行為をしたとき。
- 7) 宿泊する権利を譲渡し、または譲渡しようとしたとき。
- 8) 宿泊契約の締結が旅行代理店を通じてなされている場合において、当該旅行代理店からの宿泊代金の支払いが確認されていないとき。なお、宿泊代金の支払いが確認されていない場合とは、支払いが金融機関の窓口営業時間終了の間際に振込の方法によって、もしくは金融機関の営業時間の如何にかかわらずインターネットを介した銀行取引の方法等によってなされたものの、翌日が金融機関の休業日となっているため、当日に振込の事実が確認されない場合を含みます。
- 9) この約款または当ホテルの利用規則に違反したとき。
- 10) その他、各種法令または都道府県条例等の規定する宿泊を拒むことができる場合に該当するとき。

2 前項に基づく解除の通知は、口頭または第2条に基づき申出のあったお客様の連絡先への電話、電子メールまたは書面により行うものとし、当該通知が、第2条に基づき申出のあった連絡先に通知をしても到達しない場合には、第3条第3項の規定を適用するほか、通常到達すべき期間を経過した時点をもって到達したものとみなして取扱うことができるものとします。

3 当ホテルが前2項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、第1項(3)および(5)の場合を除き、宿泊料金の返還はいたしかねます。

4 お客様が第1項(4)⑥に該当し、当ホテルに損害が生じたときは、お客様は損害賠償金(修理代相当額および営業が出来なくなった場合に おける営業補償金)を当ホテルに支払うものとします。

第8条(宿泊の登録)

お客様は、宿泊当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- 1) お客様の氏名、年齢、性別、住所および連絡先
- 2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地および入国年月日
- 3) 出発日および出発予定時刻
- 4) 前泊地および行先地
- 5) その他当ホテルが必要と認めた事項

2 お客様が第12条の料金の支払いを宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録 時にそれらを呈示していただきます。

第9条(客室の使用時間)

- 1) 当ホテルの客室の使用時間は、チェックイン時から翌日のチェックアウト時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日および出発日を除き、終日利用することができます。
- 2) 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じる場合があります。この場合には客室内のインフォメーションタブレット等に掲示する追加料金を申し受けます。

第10条(利用規則の遵守)

お客様は、当ホテルにおいては、当ホテルが定めて館内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第11条(営業時間)

- 1) 当ホテルの主な施設等の営業時間は、館内各所の掲示または客室内のインフォメーションまたはタブレット等でご案内致します。
- 2) 前項の時間は、やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適宜お知らせします。

第12条(料金の支払い)

- 1) お客様が支払うべき宿泊料金等の内訳およびその算出方法は、別表第1に掲げるところによります。
- 2) 宿泊料金等の支払は、通貨または当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、チェックインまたは当ホテルが請求した際に行っていただきます。
- 3) 当ホテルがお客様に客室を提供し、使用が可能になったのち、お客様が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料は申し受けます。

第13条(当ホテルの責任)

- 1) 当ホテルは、宿泊契約およびこれに関連する契約の不履行、または不法行為によりお客様に損害を与えたときは、当ホテルに故意または重大な過失のある場合のみ、その損害を賠償します。

- 2) 当ホテルは、前項の損害に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しておりますが、保険契約上の免責事由に該当するときは、お客様の被った損害が填補されない場合があります。

第14条(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

- 1) 当ホテルは、お客様に契約した客室を提供できないときは、お客様の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
- 2) 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設を斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料をお客様に支払い、その補償料は損害賠償額に充当いたします。ただし、客室の提供ができない事について、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第15条(寄託物などの取扱い)

- 1) お客様がフロントにお預けになった物品または現金ならびに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは5万円を上限としてその損害を賠償します。ただし、現金および貴重品については、お客様がその種類および価額の申告を行わなかったときは、当ホテルはその損害を賠償しません。
- 2) お客様が当ホテル内にお持込みになった物品、現金または貴重品について滅失、毀損等の損害が生じた場合、フロントにお預けにならなかったものに関しては、当ホテルに故意または重大な過失がない限り、滅失、毀損等の損害が生じても当ホテルは責任を負いかねます。

第16条(お客様の手荷物または携帯品の保管)

- 1) お客様の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、お客様がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。
- 2) お客様がチェックアウトしたのち、お客様の手荷物または携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、該当所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合または所有者が判明しない時は、発見日を含めて3日間保管し、その後最寄りの警察へ届けます。その他の物品については当ホテルの裁量により適宜処分いたします。ただし、消耗品や飲料、食品類その他衛生環境を損なう物、新聞・雑誌、傘、その他廃棄されたと判断したものは、すみやかに当ホテル所定の手順に従い処分いたします。
- 3) 前2項の場合におけるお客様の手荷物または携帯品の保管について当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準じるものとします。

第17条(駐車場の責任)

- 1) お客様が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当ホテルの故意または過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。
- 2) 当ホテルは、当ホテルが管理していない提携駐車場内における車両、その付属装着物または積載物の盗難、紛失または毀損については一切責任を負いません。

第18条(お客様の責任)

- 1) お客様の故意または過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該お客様は当ホテルに対しその損害を賠償していただきます。

第19条(本約款・利用規則の変更)

- 1) 本約款および利用規則(以下本約款等という)は、民法第548条の2第1項に定める定型約款に該当し、当ホテルは以下の場合に当ホテルの裁量により本約款等を変更することがあります。
 - a. 本約款等の変更が、お客様の一般の利益に適合するとき。
 - b. 本約款等の変更が、契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性その他の変更にかかる事情に照らして合理的なものであるとき。
- 2) 前項により、当ホテルが本約款等を変更する場合、本約款等を変更する旨および変更後の内容ならびにその効力発生日について、効力発生日の1ヶ月前までに、個別の通知および説明に代え、当ホテル所定のウェブサイトに掲示します。
- 3) 変更後の本約款等の効力発生日以降に、お客様が本約款等に基づく当ホテルのサービスを利用したときは、本約款等の変更に同意したものとみなします。

第20条(裁判管轄および準拠法等)

- 1) お客様と当ホテルとの宿泊契約に関連して発生した全ての紛争に関する裁判管轄は、東京地方裁判所または東京簡易裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。
- 2) お客様と当ホテルとの宿泊契約は、日本法に準拠し、日本法に従って解釈されるものとします。
- 3) 宿泊約款が複数の言語で作成されている場合に、各宿泊約款での記載に相違、矛盾その他の齟齬があるときは、日本語表記の宿泊約款の記載内容を優先するものとします。

以上

別表第1 宿泊料金等の内訳(第2条第1項および第12条第1項関係)

		内訳
支払うべき総額	宿泊料金	① 基本宿泊料(室料(および室料+朝食等の飲食料))
	追加料金	② 追加飲食(①に含まれるものを除く)および付帯施設の利用料金 ③ その他利用施設の定めるサービス料等
	税金	消費税 入湯税(温泉地のみ) 宿泊税(該当地のみ)

備考

基本宿泊料は、フロント・パンフレットに提示する料金表によります。
税法が改正された場合は改正された規定によるものとします。

別表第2 違約金(第6条関係)

	取消日				
予約人数	不泊	当日	前日	6日前	20日前
1名～6名	100%	100%	20%		
7名～10名	100%	100%	50%	10%	
11名～	100%	100%	80%	50%	

(注)

- 1) %は基本宿泊料に対する違約金の比率です。
- 2) 予約されたプランや、旅行会社経由等の申込先によって上記内容とは異なる場合がございます。

制定日: 2025年6月30日
STITCH HOTEL Kyoto

Hotel Regulations STITCH HOTEL Kyoto

To ensure the safety and comfort of guests staying at the Hotel, we ask for your cooperation and adherence to the following Hotel Rules, which have been established in accordance with Article 10 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts. If you do not comply with these rules, the hotel may be forced to refuse accommodation and use of the hotel facilities. Please pay particular attention, as you may also be responsible for any damages incurred by the hotel.

1. Use of Guestrooms

- (1) Please check the evacuation route map for evacuation from your guestroom. The map is posted on the back of the door to each guestroom.
- (2) Only registered guests may stay overnight at the hotel.
- (3) Guests under the age of eighteen cannot be accommodated on their own. They can be accommodated only when a parental consent form is supplied by their parents or guardians by the day before their arrival. Please also refrain from committing acts that cause anxiety and annoyance to other guests including being mentally unwell or under the influence of drugs or alcohol.
- (4) Please bear in mind that a long-term stay does not entitle you to legal rights regarding residence.
- (5) Please save water and electricity to conserve our limited resources.

2. Guestroom Card Keys

- (1) When going out of your room during your stay, please take the card key and check that the door is locked.
- (2) Please make sure to lock the door latch when you are in your room or when you go to bed.
- (3) If you misplace a guestroom card key, you shall bear the actual expense as replacement cost.
- (4) Please be sure to return your guestroom card key to the front desk upon check-out.

3. Visitors

- (1) Please meet visitors in the lobby.
- (2) When there is a knock on the door, please open the door with the door latch in place or check through the peephole.

4. In Guestrooms

- (1) Please do not use heating device or cooking equipment in the hotel (excluding those installed in the guestrooms) or irons you have brought in.
- (2) Except for in the guestrooms clearly marked as smoking permitted, smoking in your room (including heated cigarettes and e-cigarettes) is strictly prohibited. If you are found to have smoked in a guestroom other than the ones clearly marked as smoking permitted, you will be asked to pay the prescribed amount as cleaning cost of the guestroom.
- (3) Please do not use the guest rooms for purposes other than your stay including business activities, offices, or parties without the hotel's permission.
- (4) Please do not rearrange the fixtures and fittings inside the room or alter or redecorate the inside of the room without hotel's permission.
- (5) Please do not remove equipment from the room.
- (6) Please do not put anything by the window that can detract from the exterior appearance of the hotel including photos and posters.
- (7) Please do not use hair dye or bleach in the bathtub.

5. Valuables

Please look after your valuables.

6. Entrusted Items and Left-behind Items

Entrusted items will be kept for three days. When an item is not claimed within the period, it will be assumed that you have renounced ownership of the item and the hotel may dispose of it freely, and you may not make an objection.

The hotel will keep left-behind items for three days including the day on which it is found. After the period, unclaimed items will be taken to the nearby police station. However, expendables, beverages, food, and other items that can damage the sanitary environment, newspapers and magazines, umbrellas, and other items that the hotel decides were discarded by guests will be disposed of immediately.

7. Items of lost property

The hotel will handle items of lost property in accordance with the laws and regulations.

8. Settlement of Accounts

- (1) The hotel will accept payment in cash, or through designated coupons, credit cards, or alternative means agreed upon by the hotel.
- (2) Please settle your bills at the front desk on arrival or when the hotel requests payment during your stay.
- (3) When it is agreed that payment shall be made by someone other than the actual guest and payment has not been duly received by the designated date, the hotel may bill guest directly.
- (4) The hotel will not pay for guest's private expenses such as purchases, travel tickets, taxi fares, stamps, shipping charges, etc.

9. Breakfast Coupons

The hotel will not refund unused breakfast coupons.

10. Complimentary Tickets and Discount Coupons

The hotel will not refund complimentary tickets and discount coupons issued by the hotel.

11. Actions Likely to Cause Annoyance to Other Guests of the Hotel

Please do not bring into the hotel items or engage in acts that are likely to cause annoyance to other guests of the hotel as listed below.

(1) Bringing:

- ① Dogs, cats, birds and other animals or pets (seeing eye, assistance, and hearing dogs permitted) ;
- ② Gunpowder that are inflammable, volatile oils or dangerous products;
- ③ Objects emitting a foul odor or strong smell;
- ④ Unregistered firearms or swords;
- ⑤ Exceptionally large luggage or large amount of goods;
- ⑥ Other articles the possession of which is prohibited by the laws and regulations.

(2) Engaging in gambling, speaking menacingly, behaving in a manner injurious to public morals, or committing acts likely to cause aversion or annoyance to other guests of the hotel;

(3) Entering the hotel in geta (Japanese wooden clogs), leather-soled sandals, roller skates, or rollerblades;

- (4)Rearranging the fixtures and fitting, using the room for purposes other than your stay, or leaving behind personal belongings in places other than your room;
- (5)Distributing advertising or publicity materials, selling commodities, or soliciting business;
- (6)Bringing food and beverages into the hotel from outside including ordering unless the hotel permits otherwise;
- (7)Smoking (including heated cigarettes and e-cigarettes) in places other than a guestroom clearly marked as smoking permitted or the smoking areas;
- (8)Taking home breakfast food and beverages (excluding takeaway items)
- (9)Taking photographs or videos in the hotel or on the premises of the hotel in a manner that can cause annoyance to other guests;
- (10)Taking photographs or videos in the hotel for business purposes whether for profit or not without the prior approval of the hotel or showing to the public photos or videos taken in the hotel for business purposes whether for profit or not.

12. The hotel refuses use of its facilities by the organizations or individuals listed below:

- (1)Designated organized groups and designated organized crime associates as provided for under the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members or their individual members, associates, or other anti-social forces (“Anti-social Forces”);
- (2)Associates of corporations and other organizations whose business activities are controlled by Anti-social forces;
- (3)When an individual is found to have engaged in violence, injury, intimidation, extortion, intimidating and unreasonable demands, or other similar acts;
- (4)Individuals whose safety cannot be ensured and who could potentially cause injury, fear or anxiety to other guests due to them being mentally unwell or not of sound mind under the influence of drugs;
- (5)Individuals who have received a warning from the hotel for their violations of the Hotel Regulations and other rules of the hotel and do not stop the violations immediately.

13. Change to the Hotel Regulations

- (1)These Hotel Regulations fall under the category of standard form contract under the Civil Code of Japan, and any part of these Hotel Regulations may be changed by us in accordance with the article 19 of Terms and Conditions for Accommodation Contracts.
- (2)Changes to these hotel regulations shall be made by posting a notification of the change, contents of the change and the effective date on the hotel’s designated website instead of notifying and explaining individually one month in advance of the effective date and shall apply from the effective date. A document stating changes will also be available in the guestrooms.

Established: June 30, 2025
STITCH HOTEL Kyoto

Article 1 (Scope of Application)

Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between the hotel and the guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations or generally accepted practices.

2 If the hotel has entered into a special contract with the guests, insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding paragraph, such a special contract shall prevail the provisions of these Terms and Conditions.

Article 2 (Application for Accommodation Contracts)

A guest who intends to make an application for an accommodation contract with the hotel shall notify the hotel of the following particulars:

- (1) Names of the Guest (s) ;
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation charge(s) (based, in principle, on the basic accommodation charges listed in the Schedule 1);
- (4) Other particulars deemed necessary by the hotel.

2 In cases when changes arise to the particulars notified to the hotel in accordance with the preceding paragraph, the guest shall notify the hotel of the changes immediately.

3 If guests request to extend their stay, during their stay, beyond the date in Item (2) of Paragraph 1, it shall be regarded as if an application for a new accommodation contract at the time the request is made.

Article 3 (Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

A contract for accommodation shall be deemed to have been concluded when the hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding article. However, the same shall not apply when it has been proved that the hotel has not accepted the application.

2 When a contract for accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the guest is requested to pay an accommodation deposit covering the guest's entire period of stay in regard to the contract for accommodation by the start of the stay or by the date specified by the hotel.

3 If any of the events listed in the following items should occur, the hotel may treat an application for accommodation contract by the guest as though it has been made without the intention to actually stay and the accommodation contract shall become invalid.

- (1) When the guest has failed to pay the accommodation deposit as stipulated in the preceding paragraph by the start of the stay or by the date specified by the hotel in accordance with the preceding paragraph.

- (2) When the hotel has tried to contact the guest using the particulars notified in accordance with the Paragraph 1 of the preceding article, the guest cannot be reached within 10 days from the day the first contact was attempted (however, if the arrival date is less than 10 days away, by 3pm of the day of the arrival date).
- (3) When the guest rejects contacts from the hotel.

4 In the cases of (2) and (3) of the preceding paragraph, received accommodation deposit shall not be returned.

Article 4 (Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding article, the hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit as stipulated in the same Paragraph after the contract has been concluded.

2 When the hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding article or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an accommodation contract has been accepted, it shall be treated as though the hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding paragraph.

Article 5 (Refusal of Accommodation Contracts)

The hotel may not accept the conclusion of an accommodation contract under any of the following cases:

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) When there are reasons equivalent to the preceding item including when due to a natural disaster or other emergencies, victims and people in charge of restoration efforts are going to be accommodated with priority;
- (4) When the guest seeking hotel accommodation is a member of or associated with an organized crime group as provided for under the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members and Prefectural Ordinance on Elimination of Organized Crime Groups, a group associated with an organized crime group, or other anti-social force;
- (5) When the guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to their accommodation;
- (6) When the guest seeking accommodation has a specified infectious disease;
- (7) When the guest seeking accommodation keeps making demands in regard to the accommodation satisfaction of which causes an excessive burden on the hotel and may interfere with provision of service to other guests as stipulated in Order of the Ministry of Health, Labour and Welfare;
- (8) When the hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities or other unavoidable causes;

- (9) When the guest seeking accommodation is likely to cause annoyance to other guests or disrupt the hotel's operations or is verbally abusive or disruptive in a manner likely to cause annoyance to other guests or the hotel employees;
- (10) When the guest seeking accommodation is clearly perceived to be mentally or physically ill;
- (11) When the guest seeking accommodation is under 18 years old staying on their own without consent of their parent or guardian;
- (12) When the guest has made an application for accommodation for the purpose of transferring the right to stay to someone else;
- (13) When the guest has made an application for accommodation without any real intention of staying;
- (14) Other cases where the hotel may refuse accommodation in accordance with laws and regulations or prefectural ordinances.

Article 6 (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

The guest is entitled to cancel the accommodation contract by so notifying the hotel.

2 In cases when the guest has cancelled the accommodation contract in whole or in part due to causes for which the guest is liable (except in cases when the hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the guest has cancelled before the payment), the guest shall pay cancellation charges as listed in Schedule 2. However, the same shall apply only when the guest has been informed of the obligation of the payment of the cancellation charges at the time of such conclusion of the special contract in cases when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded.

3 If the guest does not appear by 11:30 p.m. of the arrival date without advance notice (2 hours after the expected time of arrival if it is clearly marked), the hotel may regard the accommodation contract as having been cancelled by the guest.

Article 7 (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

The Hotel may cancel the accommodation contract in any of the following cases:

- (1) When the guest is a member of or associated with an organized crime group as provided for under the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members and Prefectural Ordinance on Elimination of Organized Crime Groups, a group associated with an organized crime group, or other anti-social force;
- (2) When the guest engages in or in danger of engaging in violence, intimidation, extortion, unreasonable demands, gambling, use of drugs that is not permitted by laws and regulations, carrying or use of firearms or swords or other similar objects, acts that cause annoyance to other guests, or other acts that are against the laws and regulations or public order and morals;
- (3) When the guest seeking accommodation has a specified infectious disease;
- (4) When the guest has acted in the following manner with regard to the stay:
 - ① Using the room by more people than on the booking or demanding to do so;
 - ② Demanding a remission or a discount of accommodation charges or demanding to have the room changed for facts that are deemed acceptable in common sense or unfounded facts;

- ③ Repeating use of coarse or violent language or other language that causes the hotel employees to feel anxious or scared;
- ④ Demanding reception beyond service what is normally offered at the hotel;
- ⑤ Disregarding requests by the hotel employees regarding the appropriate use of the guestrooms and the hotel facilities despite the fact such requests are repeated;
- ⑥ Destroying or defacing intentionally or with gross negligence, or unlawfully stealing the facilities, furniture, bedding, fittings, and ornaments;
- ⑦ Making excessive demands beyond legal obligations (including those arising from the hotel's negligence)
- ⑧ Besides above, making repeated demands in regard to the accommodation satisfaction of which causes an excessive burden on the hotel and may notably interfere with provision of service to other guests as stipulated in Order of the Ministry of Health, Labour and Welfare;
- (5) When the hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities or other unavoidable causes;
- (6) When the guest commits acts that interfere with fire prevention including smoking in bed and mischief to the fire-fighting facilities;
- (7) Transferring or trying to transfer the right to stay;
- (8) When an accommodation contract has been concluded through a travel agency and a payment of accommodation charges from the agency has not been confirmed. This includes when the payment has been made either by transfer right before the end of the business hours of financial institutions or regardless of the business hours of financial institutions through Internet banking but as financial institutions are closed on the following day, the payment cannot be confirmed on the day;
- (9) When the guest fails to observe the Terms and Conditions of Accommodation Contracts of the hotel or the Hotel Regulations;
- (10) Others that fall under the cases where the hotel may refuse accommodation in accordance with laws and regulations or prefectural ordinances.

2 A notice in accordance with the preceding paragraph shall be made orally or by call or email or in writing to the guests' contact details notified in accordance with Article 2, and if a notice does not reach the guest even when it is made to the guest's contact details notified in accordance with Article 2, the notice shall be deemed to have reached the guest after the period of time within which the notice should have reached the guest in addition to the provisions of Paragraph 3 of Article 3 being applied.

3 In cases when the hotel has cancelled the accommodation contract in accordance with the preceding two paragraphs, the hotel shall not refund the accommodation charges except when the Items (3) and (5) of Paragraph 1 apply.

4 When Item (4) ⑥ of Paragraph 1 applies to the guest and the hotel incurs damage, the guest shall compensate the hotel for the damage (repair fee and compensation for business interruption if the operation is suspended).

Article 8 (Registration)

The guest shall register the following particulars at the front desk of the hotel on the day of the accommodation:

- (1) Name, age, sex, address, and contact details of the guests (s) ;
- (2) For foreign guests, nationality, passport number, port and date of entry into Japan;
- (3) Date and estimated time of departure;
- (4) Place of stay on the previous night and destination
- (5) Other particulars deemed necessary by the hotel.

2 In cases when the guest intends to pay their accommodation charges prescribed in Article 12 by any means other than cash, such as coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of registration prescribed in the preceding paragraph.

Article 9 (Occupancy Hours of Guestrooms)

The guest is entitled to occupy the contracted guestroom of the hotel from the check-in time to the check-out time on the next day. However, if the guestroom is contracted for consecutive days, the guest may occupy it for the entire day, except for the days of arrival and departure.

2 The hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding paragraph, permit the guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall apply as indicated in information tablets in the guestrooms:

Article 10 (Observance of Hotel Regulations)

The guest shall, while on the premises of the hotel, observe the Hotel Regulations established by the hotel that are posted within the hotel.

Article 11 (Opening hours)

The opening hours of the main facilities, etc. of the hotel are specified in detail by notices displayed at each place or information or tablets in the guest rooms.

2 The opening hours provided in the previous Paragraph are subject to change temporarily by necessity, and when they do, an announcement shall be made as necessary.

Article 12 (Payment of Accommodation Charges)

The breakdown and method of calculation of the accommodation charges, etc. that the guest shall pay are as listed in Schedule 1.

2 The accommodation charges, etc. as stated in the preceding paragraph shall be paid in cash, or by alternative means such as coupons or credit cards accepted by the hotel at the time of the check-in or upon request by the hotel.

3 The accommodation charges shall be paid even if the guest chooses not to utilize the accommodation facilities provided by the hotel and which are at the guest's disposal.

Article 13 (Liabilities of the Hotel)

When the hotel causes damage to the guest due to a non-performance of the accommodation contract and related agreements, the hotel shall compensate the guest for the damage only if the hotel has been intentional or with gross negligence.

2 The hotel is covered by hotel liability insurance in order to deal with the damage as stipulated in the previous Paragraph. However, if the exemption clauses under the insurance contract apply, the damage incurred by the guest may not be compensated.

Article 14 (Procedure when unable to provide Contracted Rooms)

The hotel shall, when unable to provide the contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the guest insofar as practicable and with the consent of the guest.

2 When other accommodation cannot be arranged, notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the hotel shall pay the guest a compensation fee equivalent to the penalty charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the hotel cannot provide accommodation because of factors for which the hotel is not liable, the hotel shall not pay the compensation fee.

Article 15 (Handling of Deposited Articles)

For goods, cash or valuables deposited at the front desk by the guest, the hotel shall compensate the guest for any damage from loss, breakage, or others up to 50,000 JPY, except in cases involving force majeure. However, when the guest has not made a declaration in advance of the type and value of the cash or valuables, the hotel shall not compensate for the damage.

2 For goods, cash or valuables which are brought onto the premises of the hotel by the guest but which are not deposited at the front desk, the hotel shall not compensate the guest for any damage from loss, breakage or others unless it is caused through an intentional action or gross negligence on the part of the hotel.

Article 16 (Safekeeping of Luggage or Belongings of the Guest)

When the guest's luggage is brought into the hotel prior to the guest's arrival, the hotel shall be responsible to keep it only when such a request has been accepted by the hotel. The baggage shall be handed over to the guest at the front desk at the time of check-in.

2 When the guest's luggage or belongings are found to have been left behind after check-out, and ownership of the item can be determined, the hotel shall inform the owner of the item left behind and ask for further instructions. When no instruction is given to the hotel by the owner or when ownership cannot be determined, the hotel shall keep the article for 3 days, including the day on which it is found, and after this period, the hotel shall turn it over to the nearest police station. Other items shall be disposed of as necessary at the hotel's discretion. However, expendables, beverages, food, and other items that can damage the sanitary environment, newspapers and magazines, umbrellas, and other items that the hotel decides were discarded by guests will be disposed of immediately following the procedure prescribed by the hotel.

3 The hotel's responsibility in regard to the safekeeping of the guest's luggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same in the case of Paragraph 2.

Article 17 (Liability for Parking)

The hotel shall not be responsible for the safekeeping of the guest's vehicle when the guest utilizes the parking lot on the premises of the hotel, as it shall be regarded that the hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited with the hotel or not. However, the hotel shall compensate the guest for any damage caused through an intentional action or negligence on the part of the hotel in regard to the management of the parking lot.

2 The hotel shall not be liable for a theft, loss, or breakage of a vehicle, its accessories, or its load on affiliated parking lots that are not managed by the hotel.

Article 18 (Liability of the Guest)

The guest shall compensate the hotel for any damage caused by the guest, either intentionally or through negligence.

Article 19 (Changes to the Terms and Conditions)

These Terms and Conditions and Hotel Regulations ("Terms and Conditions") fall under the category of standard form contract stipulated under Paragraph 1 of Article 548-2 of the Civil Code of Japan, and these Terms and Conditions may be changed by the hotel at its discretion in the following cases.

- (1) When change of the Terms and Conditions comforts with the general interest of the guests.
- (2) Change of the Terms and Conditions is not contrary to the purpose for which the parties have entered into the contract and is reasonable in view of its necessity, reasonability of content after the change, and other circumstances of the change.

2 Changes to these Terms and Conditions in accordance with the preceding paragraph shall be made by posting a notification of the changes, content of the changes and the effective date on the company's designated website instead of notifying and explaining individually one month in advance of the effective date.

3 When the guest uses a service of the hotel in accordance with the Terms and Conditions after the effective date of the changed Terms and Conditions, it is deemed that the guest has agreed to the change of the Terms and Conditions.

Article 20 (Jurisdiction and Governing Law)

Any disputes arising out of or relating to the accommodation contract between the guest and the hotel shall be subject to the exclusive jurisdiction of the Tokyo District Court of Japan or Tokyo Summary Court of Japan as the competent court of first instance.

2 The accommodation contract between the guest and the hotel shall be governed by and construed in accordance with the laws of Japan.

3 When the accommodation contract is drafted in multiple languages and there is any discrepancy, conflict or other inconsistency among these texts, the contents of the Japanese text shall prevail.

		Breakdown
Amount payable by the guest	Accommodation charges	①Basic accommodation charge (room charge (and room charge +meals and drinks including breakfast)
	Extra charges	②Extra meals and drinks (excluding those included in①) and charge for use of the hotel facilities ③Service charge prescribed the facilities used by the guest
	Tax	Consumption tax Bathing tax (only in hot-spring areas) Accommodation tax (only in applicable areas)

Schedule 1 Breakdown of Accommodation Charges (Ref: Article 2 Paragraph 1 and Article 12 Paragraph 1)

Remarks: The basic accommodation charge is indicated at the front desk and in the brochure.

When tax laws are amended, new provisions shall govern.

Schedule 2: Cancellation Charges (Ref: Article 6)

Contracted number of guests	20 days or more prior to arrival date	6 days before arrival date	1day before arrival date	Arrival date	No show
1-6 Persons			20%	100%	100%
7-10 Persons		10%	50%	100%	100%
11 Persons or more		50%	80%	100%	100%

(NOTE)

1. “%” is the ratio of the cancellation fee to the basic accommodation charge.
2. Cancellation charges may be different from the aforementioned depending on which plan is booked or which travel agency is used.

Established: June 30, 2025
STITCH HOTEL Kyoto

使用规则

STITCH HOTEL Kyoto

为了确保客人获得安全且舒适的住宿体验, 本酒店按照住宿条款第10条制定以下使用规则, 敬请配合。如果您不遵守本规则, 本酒店可能会不得不拒绝您的住宿及对本酒店内的各种设施的使用, 并要求您承担对本酒店造成的损害, 敬请特别注意。

1. 关于客房的使用

- (1) 从客房疏散的路线图已张贴在各客房门上设置的信息板上, 请您提前确认。
- (2) 谢绝未登记的旅客住宿。
 - (3) 本酒店拒绝未满18岁客人的单独住宿。仅限在住宿日之前监护人提交“住宿同意书”的情况下接受住宿。另外, 避免因精神或身体耗弱、药物、饮酒等失去理智给其他客人带来不安和困扰的行为。
- (4) 敬请知悉不会因长期住宿而产生有关居住的法律上的权利。
- (5) 为了珍惜利用有限的资源, 请您配合节约用水用电等。

2. 客房钥匙(房卡)

- (1) 住宿期间离开房间时, 请携带房卡钥匙并务必确认上锁。
- (2) 在房间内时及在就寝时, 请务必挂好“防盗扣”。
- (3) 若丢失客房钥匙(房卡), 需承担其重新制作费用, 此费用依实际成本计价。
- (4) 请在从本酒店出发时务必将房间的房卡钥匙交还至前台。

3. 访客

- (1) 请在大堂与访客会面。
- (2) 如果有人敲门, 请挂好防盗扣后再开门或使用猫眼确认。

4. 客房内

- (1) 请不要使用本酒店内的暖气、炊具等用火器具(客房内配备的用火器具除外)以及自带电熨斗等。
 - (2) 除明确表示可以吸烟的客房外, 坚决拒绝在客房内吸烟(包括加热式香烟、电子烟)。若发现您在明确表示可以吸烟的客房以外的客房内吸烟, 将按照本酒店所规定的金额向您收取客房清洁费用。
- (3) 未经本酒店许可, 请不要以经营、办公、聚会等住宿以外的目的使用客房。
- (4) 未经本酒店许可, 请不要移动客房内的配备物品、对客房进行改装或改造。
- (5) 请不要将客房内的配备物品带出客房。
- (6) 请不要在客房窗户上张贴照片、海报等, 不要在窗边摆放有损本酒店外观的物品。
- (7) 请不要在一体化浴室内使用染发剂或漂白剂等。

5. 贵重物品

请务必妥善保管贵重物品及高价物品。

6. 寄存物品、遗留物品

寄存物品的保管期限为3天。若您未在保管期限内取走物品则视为您已放弃该物品所有权，可以由本酒店自行处分。您不能对此提出异议。

遗留物品的保管期限为3天，包含被发现之日。之后将交送就近的警察局。但消耗品、饮料、食品类或其他有损卫生环境的物品、报刊杂志、雨伞及其他本酒店判断为已被废弃的物品将在当天进行处理。

7. 遗失物品

遗失物品将按照法律法规应对。

8. 结账

- (1)使用费的支付需要以现金，或本酒店认可的使用券、住宿券或信用卡等或者本酒店认可的其他方式进行。
- (2)请在到达本酒店时或者在前台要求时于前台支付。
- (3)当由住宿客人之外的人支付住宿费用时，如果其未于约定日期为止支付，则可能直接向住宿客人本人要求支付住宿费用。
- (4)恕不垫付购物、票务、出租车、邮票以及行李快递等费用。

9. 早餐券

未使用的早餐券不可退款或回购。

10. 优惠券、折扣券

本酒店发行的优惠券、折扣券等不可退款或回购。

11. 本酒店内的滋扰行为

本酒店谢绝对其他客人造成困扰的携带下列物品的行为或者其他行为等：

- (1)携带下列物品的行为：
 - ①狗、猫、小鸟等各类动物、宠物(但导盲犬、护理犬、助听犬不在此限)；
 - ②易燃易爆的火药及挥发性油类等以及危险产品；
 - ③恶臭或散发强烈异味的物品；
 - ④无许可证的枪支和刀具类；
 - ⑤明显过多的行李及物品；
 - ⑥其他法律法规禁止持有的物品。
- (2)赌博、胁迫性言行、扰乱风纪的行为，或者给其他客人带来厌恶感或造成困扰的行为；
- (3)穿着木屐、雪屐、轮滑鞋、直排轮鞋进入酒店；
 - (4)移动配置物品，或出于原本使用目的以外使用配置物品，或在客房以外的地方放置个人物品；
- (5)分发广告宣传物，销售商品及推销劝诱；
- (6)除本酒店另行许可的情况外，从本酒店以外的地方订外卖等将食品饮料带入本酒店的行为；
 - (7)在除明确表示可以吸烟的客房或者馆内吸烟室以外的区域吸烟(包括加热式香烟、电子烟)；
 - (8)带走早餐提供的食物及饮料(可带走的东西除外)；
- (9)在馆内以及场地内对其他客人造成困扰的拍照、录像；
 - (10)未经本酒店许可，无论营利性还是非营利性出于业务目的在本酒店设施内拍照或录像，或将在本酒店设施内拍摄的照片或视频等无论营利性还是非营利性出于业务目的公开。

12. 拒绝下列组织和个人使用本酒店内各项设施：

- (1)《有关防止暴力组织成员不当行为等的法律》中规定的指定暴力组织以及指定暴力组织联合体，或其成员、相关人员，以及其他反社会势力(以下统称“反社会势力”)；
- (2)由反社会势力控制业务活动的法人及其他团体的相关人员；

- (3)被认为进行暴力、伤害、威胁、恐吓,胁迫性的无理要求或与之类似行为;
- (4)由于精神耗弱、药物等导致无法控制自己等保证自身安全存在困难,可能对其他客人造成危险感、恐慌感、不安感的人员;
- (5)违反本酒店使用规则或其他规则等,接到本酒店提醒后不立刻终止其行为者。

13. 规则的修改

- (1)本规则为日本国《民法》中的“定型约款”(格式条款),本规则的各项规定会按照住宿条款第19条的规定进行修改。
- (2)修改本规则的,就规则修改及修改后的内容以及生效日,在生效日的1个月前在本酒店所确定的网站上展示,以替代个别的通知及说明,并从公示时规定的生效日开始适用。另外同时在客房内展示。

全文如上

制定日期:2025年6月30日
STITCH HOTEL Kyoto

住宿条款

STITCH HOTEL Kyoto

第1条(适用范围)

本酒店和客人之间签订的住宿合同及与其相关的合同应适用本住宿条款的规定,本住宿条款中未规定的事宜应依照法律法规或者已普遍确立的习惯执行。

2 本酒店在不违反法律法规以及习惯的范围内接受特别约定时,无论前款作何规定,优先适用该特别约定。

第2条(住宿合同的申请)

向本酒店申请住宿合同的客人,需向本酒店提交以下信息:

- (1)住宿客人姓名;
- (2)住宿日期以及预计到达时间;
- (3)住宿费用(原则上依照附表1的基本住宿费);
- (4)本酒店认为有必要的其他事项。

2 按照前款规定向本酒店提交的内容发生变化时,需将变更后的内容迅速提交至本酒店。

3 客人在住宿期间提出超过第1款(2)中住宿天数继续住宿的要求时,本酒店视为客人在提出该要求时提出新的住宿合同的申请进行处理。

第3条(住宿合同的成立等)

住宿合同应在本酒店承诺前款所述申请时成立。但当本酒店证明了未予以承诺时,不在此限。

2 依照前款规定住宿合同成立时, 需在住宿开始前或在本酒店指定日期前支付该住宿合同项下整个住宿期间的住宿费用。

3 发生下列情况之一时, 本酒店可以将该客人的住宿申请作为没有实际住宿意愿的申请处理, 住宿合同则失去其效力:

- (1)前款所述住宿费用未按照该款的规定在住宿开始前或在本酒店指定日期前支付时;
- (2)尝试通过按照前条第1款提交的联系方式进行联系, 从第一次联系之日起10天以内(但, 距入住当日的天数不足10天时, 到入住当日的15点为止)无法取得联系时;
- (3)拒绝本酒店的联系时。

4 符合前款(2)或(3)规定的情形时, 已收取的住宿费用恕不退还。

第4条(无需支付预付款的特别约定)

尽管有前条第2款的规定, 本酒店可能会接受在合同成立后无需支付该款规定的预付款的特别约定。

2 对住宿合同的申请予以承诺时, 在本酒店未要求支付前条第2款规定的预付款或者未指定该预付款的支付日期的情况下, 视为本酒店已接受前款规定的特别约定予以处理。

第5条(拒绝签订住宿合同)

在下列情况下, 本酒店可能不接受签订住宿合同:

- (1)住宿申请不符合本住宿条款规定时;
- (2)无空房时;
- (3)因灾害或其他紧急情况的发生等而实际存在为灾民及救灾重建人员等优先提供客房的计划等, 存在类似前项规定情形时;
- (4)欲住宿者为《有关防止暴力组织成员不当行为等的法律》及与排除暴力组织相关的都道府县条例中规定的暴力组织或暴力组织相关团体或其他反社会势力的成员或其相关人员时;
- (5)欲住宿者被认为可能会与住宿相关而做出违反相关法律法规的规定、公共秩序或善良风俗行为时;
- (6)欲住宿者为特定传染病患者等时;
- (7)与住宿相关而反复提出厚生劳动省令规定的伴随其实施的负担过重, 且存在严重妨害向其他客人提供住宿相关服务风险的要求时;
- (8)因天灾、设施故障或其他不得已的理由, 不能提供住宿服务时;
- (9)欲住宿者可能会对其他客人造成困扰, 或阻碍本酒店的运营时, 或者做出对其他客人或本酒店工作人员造成困扰的言行时;
- (10)欲住宿者被明确认为处于身心不适的状态时;
- (11)无监护人许可的情况下未满18岁者单独住宿时;
- (12)以将住宿权利转让给他人作为目的申请住宿时;
- (13)即使没有实际住宿意愿, 仍旧申请住宿时;
- (14)其他符合各种法律法规或都道府县条例等规定可以拒绝住宿的情况时。

第6条(客人的合同解除权)

客人可以通知本酒店解除住宿合同。

2 客人因应归责于其自身原因而解除全部或部分住宿合同时(不包括在本酒店依照第3条第2款的规定指定了预付款支付日期要求支付的情况下,客人在支付之前解除了住宿合同时),本酒店将依照附表2的规定收取违约金。但仅限于本酒店在接受第4条第1款特别约定时告知了客人解除住宿合同需支付违约金的情形。

3 在未通知的情况下,客人于入住当日下午11点30分(明确表示预计到达时间的情况下,为超过该时间点2小时)仍未到达时,本酒店会视为由客人解除住宿合同予以处理。

第7条(本酒店的合同解除权)

本酒店在下列情形之一时可以解除住宿合同:

- (1)客人为《有关防止暴力组织成员不当行为等的法律》以及与排除暴力组织相关的都道府县条例规定的暴力组织或暴力组织相关团体或其他反社会势力的成员或相关人员时;
- (2)客人在本酒店内进行暴行、胁迫、恐吓、不当要求、赌博行为,持有或使用法律法规未许可的药物、枪支、刀具类及与其类似的物品,对其他客人造成困扰的行为,进行其他违反法律法规或公序良俗的行为,或者存在进行该等行为的危险时;
- (3)客人为特定传染病患者等时;
- (4)与住宿相关而进行下列行为时:
 - ①超过事先预约人数的客人使用客房或要求使用客房的行为;
 - ②以依据社会常识在应该接受的范围内的事实或真假不明的事实为理由要求免除或减少住宿费用,或者要求变更客房的行为;
 - ③反复进行粗鲁或粗暴的言行或其他使本酒店员工感到身心不安或恐怖的言行;
 - ④要求超过本酒店通常提供的服务内容的接待的行为;
 - ⑤本酒店员工就客房及本酒店内设施适当的使用方法反复请求后,仍表露拒绝该请求态度的行为;
 - ⑥以故意或重大过失损坏或污损或者不正当窃取客房及本酒店内的设施、家具、寝具、配备物品、装饰品的行为;
 - ⑦超过法律义务范围的过度要求的行为(包括因本酒店过失导致的情形);
 - ⑧除前述内容以外,反复提出厚生劳动省令规定的伴随其实施的负担过重,且存在严重妨害向其他客人提供住宿相关服务风险的要求之行为。
- (5)因自然灾害、设施故障等其他不得已的理由,不能提供住宿服务时;
- (6)在客房内平躺吸烟、摆弄消防设备等对预防火灾、防止火势蔓延造成妨碍及影响的行为;
- (7)转让或欲转让住宿权利时;
- (8)通过旅行代理商签订住宿合同的,未确认到该旅行代理商已支付住宿费用时。另外,未确认到住宿费用已支付的情况包含:在支付金融机构的窗口营业时间即将结束时汇款,或无论在金融机构的营业时间内外通过互联网银行交易方法等进行支付后,因第二天为金融机构休息日,故当日未能确认到汇款事实的情形;
- (9)违反本住宿条款或本酒店的使用规则时;
- (10)其他符合各类法律法规或都道府县条例等规定的可以拒绝住宿的情形时。

2 前款规定的解除通知,通过口头形式或者按照第2条客人提供的联系方式通过电话、电子邮件或书面形式进行;在向按照第2条提供的联系方式发出该通知但未到达的情况下,除适用第2条第3款的规定外亦可视为在经过通常应到达的期间时已到达进行处理。

3 本酒店按照前两款的规定解除住宿合同时,除第1款第3项及第5项的情形外不退还住宿费用。

4 客人符合第1款(4)⑥的情形, 对本酒店造成损害的, 该客人应向本酒店支付损害赔偿金(相当于修理费用的金额, 以及因无法营业导致的营业补偿金)。

第8条(住宿登记)

客人需于住宿当日在本酒店前台登记以下事项:

- (1) 客人的姓名、年龄、性别、住所及联系方式;
- (2) 若是外国人的, 需要国籍、护照号码、入境地及入境年月日信息;
- (3) 出发日及预定出发时间;
- (4) 前晚住宿地及目的地;
- (5) 其他本酒店认为必要的事项。

2 客人使用住宿券、信用卡等替代现金的方法支付第12条规定的费用时, 需在前款登记时事先出示。

第9条(客房的使用时间)

本酒店客房的使用时间为入住时至第二天退房时为止。但在连续住宿的情况下, 除到达日及出发日外可以使用整天。

2 尽管有前款规定, 本酒店可能亦接受在该款规定的时间外使用客房。此时, 本酒店收取在客房内信息平板电脑等处显示的追加费用。

第10条(遵守使用规则)

客人需在本酒店内遵守由本酒店制定并在馆内展示的使用规则。

第11条(营业时间)

本酒店主要设施等的营业时间在馆内各处的告示或在客房内信息或平板电脑等处通知。

2 在不得已的情况下可能临时变更前款所述时间, 在此情况下会以适当的方式告知。

第12条(费用的支付)

客人应支付的住宿费用等的明细及其计算方法见附表1处。

2 住宿费用等的支付应以现金或本酒店认可的住宿券、信用卡等替代现金的方法在入住或本酒店请求时进行。

3 本酒店为客人提供客房, 使其处于可由客人使用的状态后, 即使客人自行决定不住宿也会收取住宿费。

第13条(本酒店的责任)

在本酒店不履行住宿合同及与其相关的合同, 或因侵权行为导致客人损害时, 仅当本酒店存在故意或重大过失时对该损害进行赔偿。

2 本酒店为了应对前款的损害已加入酒店赔偿责任保险, 但存在保险合同规定的免责事由的, 客人所遭受损害可能不受补偿。

第14条(无法提供已签约客房时的处理)

本酒店在无法向客人提供已签约客房时，在取得客人的谅解后，尽可能以同等条件介绍其他住宿设施。

2 尽管有前款规定，在无法介绍其他住宿设施时，本酒店向客人支付相当于违约金的补偿金，该补偿金将抵偿损害赔偿金。但未能提供客房并非由于应归责于本酒店的事由导致的，本酒店不支付补偿金。

第15条(寄存物品等的处理)

客人在前台寄存的物品或者现金或贵重物品发生灭失、毁损等的损害时，除不可抗力的情形外，本酒店以5万日元为上限进行赔偿。但客人未明确告知现金及贵重物品的种类及价格的，本酒店不赔偿其损害。

2 客人带入本酒店内的物品、现金或贵重物品发生灭失、毁损等损害时，对于未寄存在前台的，除非本酒店有故意或者重大过失，即使发生灭失、毁损等损害本酒店也不承担责任。

第16条(客人的随身行李或携带物品的保管)

客人的随身行李在客人住宿之前到达酒店时，本酒店仅限在行李到达前已同意的情况下负责保管，在客人到前台办理入住时递交给客人。

2 客人退房后，客人的随身行李或携带物品遗忘在本酒店时，在辨明失主后本酒店应在联系该失主的同时征求其指示。但失主无指示或不可辨明失主时，本酒店保管3天(包含发现日)后交送就近的警察局。除此之外的物品则按照本酒店的判断酌情处理。但消耗品、饮料、食品类及其他有损卫生环境的物品、报刊杂志、雨伞及其他被认定为已被废弃的物品则按照本酒店规定的方法迅速处理。

3 就前两款的情形下本酒店对于客人的随身行李或携带物品的保管责任，在第1款规定的情形下适用前条第1款的规定，在前款规定的情形下适用前条第2款的规定。

第17条(对于停车的责任)

客人使用本酒店停车场时，无论是否寄存了车钥匙，本酒店仅出借场地，并不对车辆管理负责。但在停车场的管理上，因本酒店的故意或过失导致损害的，承担其赔偿责任。

2 本酒店对于不属于本酒店管理的合作停车场内车辆、其配件或搭载物被盗、遗失或毁损不承担任何责任。

第18条(客人的责任)

因客人的故意或过失导致本酒店蒙受损害时，该客人需对本酒店赔偿其损害。

第19条(本住宿条款、使用规则的修改)

本住宿条款及使用规则(以下简称“本住宿条款等”)为日本国《民法》第548条之2第1款规定的“定型约款”(格式条款)，本酒店在以下情形下依据本酒店的判断可能会修改本住宿条款等：

(1)本住宿条款等的修改符合客人普遍的利益时；

(2)本住宿条款等的修改不违反合同目的，且考虑到修改的必要性、修改后内容的适当性及其他与修改相关情况该修改是合理的情况时。

2 当本酒店依照前款修改本住宿条款等时，就本住宿条款等的修改及修改后的内容以及其生效日，在生效日的1个月前在本酒店所确定的网站上展示，以替代个别的通知及说明。

3 在修改后的本住宿条款等的生效日之后，客人按照本住宿条款等使用本酒店服务时，被视为已同意本住宿条款等的修改。

第20条(管辖法院及准据法等)
就客人与本酒店间的住宿合同相关产生的全部纠纷的管辖法院，东京地方法院或东京简易法院为第一审专属合意管辖法院。

- 2 客人与本酒店间的住宿合同应适用日本法律，按照日本法律解释。
- 3 住宿条款以多种语言制作时，各住宿条款的记载不同、有矛盾或其他不一致的，应以日文制作的住宿条款的记载内容优先。
- 正文如上

附表1 住宿费用等的明细(与第2条第1款以及第12条第1款相关)

		明细
应支付总额	住宿费用	①基本住宿费(房费(以及房费+早餐等餐饮费))
	追加费用	②追加餐饮费(①中已包含的除外)以及配套设施的使用费 ③其他使用设施所规定的服务费等
	税金	消费税 温泉使用税(仅在有温泉地区) 住宿费(仅在适用地区)

备注 基本住宿费参照前台、手册提示的费用表。
若税法被修改，则应依照修改后的规定执行。

附表2 违约金(与第6条相关)

酒店	取消日期	未入住	当天	前1天	6天前	20天前
	预订人数					
	1名~6名	100%	100%	20%		
	7名~10名	100%	100%	50%	10%	
	11名~	100%	100%	80%	50%	

- (注)
1. %为对基本住宿费的违约金比例。
2. 上述内容可能因预订的套餐或通过旅行社等申请途径而有所不同。

이용규칙

STITCH HOTEL Kyoto

숙박객 여러분이 안전하고 쾌적하게 지내시기 위하여 숙박약관 제10조에 의거하여 다음과 같이 이용규칙을 정하고 있으므로 준수에 협력해 주시기 바랍니다. 이 규칙을 지키지 않으실 경우에는 부득이하게 숙박 또는 호텔 내 제반 시설의 이용을 거절하고 또한 당 호텔이 입은 손해 부담을 요청할 수도 있으니 각별히 유의해 주시기 바랍니다.

1. 객실 이용에 대하여

- (1)객실로부터의 피난 경로도는 각 객실 입구에 설치된 안내판에 표시되어 있으니 미리 확인해 주시기 바랍니다.
- (2)숙박 등록자가 아닌 자의 숙박은 참가해 주시기 바랍니다.
- (3)18세 미만자의 단독 숙박은 받지 않습니다. 숙박일 전날까지 보호자가 「숙박동의서」를 제출한 경우에 한하여 허용하고 있습니다. 또한 심신쇠약, 약물, 음주 등으로 이성을 잃거나 다른 숙박객에게 불안 및 폐를 끼치는 행위도 참가해 주시기 바랍니다.
- (4)장기 숙박 이용으로 거주에 관한 법률상의 권리가 발생할 일은 없습니다.
- (5)한정된 자원을 소중하게 사용하고 있기 때문에 절전·절수 등 협력을 부탁드립니다.

2. 객실(카드) 키

- (1)체류하시는 동안 객실에서 나가실 때는 객실의 카드키는 소지하시고 반드시 잠금 장치를 확인해 주시기 바랍니다.
- (2)객실 안에 계실 때 및 취침 시는 반드시 「문걸쇠(보조잠금장치)」를 거시기 바랍니다.
- (3)객실(카드) 키 분실 시에는 재 제작 비용으로 실비를 청구하여 받습니다.
- (4)객실의 카드키는 당 호텔을 체크아웃 시 반드시 프론트에 반납해 주시기 바랍니다.

3. 방문자

- (1)방문객과의 면회는 로비를 이용해 주시기 바랍니다.
- (2)객실 문을 두드리는 소리가 들릴 때는 「문걸쇠(보조잠금장치)」를 건 상태로 문을 열거나 혹은 도어 스코프로 확인해 주십시오.

4. 객실내

- (1)당 호텔 내의 난방용, 취사용 등의 화기(객실 내에 설치된 화기 제외) 및 가져온 다리미 등의 사용은 참가해 주시기 바랍니다.

- (2)흡연 구역으로 명시된 객실 이외의 객실 내에서의 흡연(가열담배, 전자 담배 포함)은 엄격히 금지합니다. 흡연 구역으로 명시된 객실 이외의 객실에서의 흡연이 확인된 경우 객실 청소 비용으로 당 호텔의 규칙에 따라 해당 금액을 청구합니다.
- (3)당 호텔의 허가 없이 객실을 영업 행위·사무소·파티 등 숙박 이외의 목적으로 사용하지 마십시오.
- (4)당 호텔의 허가 없이 객실 내의 비품 이동, 제작, 개조는 하지 마십시오.
- (5)객실 내의 비품은 객실 밖으로 반출하지 마십시오.
- (6)객실 창가에 사진, 포스터 부착 등 당 호텔의 외관을 해치는 물품을 창가에 두지 마십시오.
- (7)욕실 내에서의 염색·표백제는 사용하지 마십시오.

5. 귀중품

귀중품 및 고가품은 반드시 본인이 관리해 주시기 바랍니다.

6. 위탁품·분실물

위탁품의 보관 기간은 3일간입니다. 보관 기간 내에 찾아가지 않으실 경우, 숙박객이 그 소유권을 포기한 것으로 간주하여 당 호텔이 자유롭게 처분할 수 있는 것으로 합니다. 이에 대하여 숙박객은 이의를 신청할 수 없는 것으로 합니다.

분실물의 보관 기간은 발견일을 포함하여 3일간입니다. 그 후 가까운 경찰서에 신고합니다. 다만 소모품 및 음료, 식품류 기타 위생 환경을 해치는 물품, 신문·잡지, 우산, 기타 당 호텔이 폐기된 것으로 판단한 물품은 당일 처분합니다.

7. 유실물

유실물 취급에 관해서는 법령이 정하는 바에 따릅니다.

8. 지불

- (1)이용 대금 지불은 현금 또는 당 호텔이 인정한 이용권, 신용카드 등 혹은 당 호텔이 인정하여 이것을 대신할 수 있는 방법으로 지불해야 합니다.
- (2)요금 지불은 도착 또는 프런트가 청구 시 프론트에 지불해 주시기 바랍니다.
- (3)숙박자가 아닌 대리인이 이용 대금을 지불할 경우, 정해진 기일까지 지불이 확인되지 않으면 숙박자 본인에게 직접 지불을 요구할 경우가 있습니다.
- (4)쇼핑 대금, 승차권 운임, 택시비, 우표 요금, 화물 배송비 등은 대신하지 않습니다.

9. 조식권

이용하지 않았던 조식권은 환불하지 않습니다.

10. 우대권·할인권

당 호텔이 발행한 우대권·할인권 등은 환불하지 않습니다.

11. 당 호텔 내에서의 민폐 행위

당 호텔 내에서는 다른 숙박객에게 불편을 끼치는 다음 물품의 반입, 또는 행위 등은 삼가해 주시기 바랍니다.

(1)다음 물품의 반입

1. 개, 고양이, 새 등의 동물·애완동물류 전반(단 시각장애인 안내견, 도우미견은 제외)
2. 발화 또는 인화성 화약, 휘발유류 및 위험성 제품
3. 악취 및 강한 냄새가 나는 물품
4. 허가증이 없는 총포·도검류
5. 현저히 과도한 수하물 및 물품
6. 기타 법령에서 소지가 금지된 물품

(2)도박·위압적인 언행·미풍양속을 해치는 행위, 또는 다른 숙박객에게 혐오감을 느끼게 하고 폐를 끼치는 언행

(3)게타, 켄타, 롤러 스케이트, 롤러 브레이드로 입관

(4)비품의 이동, 또는 사용 목적 이외의 이용, 객실 이외의 장소에서의 소지품 방치

(5)광고물의 배포, 물품의 판매, 권유

(6)당 호텔이 별도 인정하는 경우를 제외하고 당 호텔 외로부터의 배달을 통한 음식물 반입 행위

(7)흡연 구역으로 명시된 객실 또는 호텔 내의 흡연 장소 이외에서의 흡연(가열식 담배, 전자 담배 포함)

(8)조식에 나온 음식물 포장(가져갈 수 있는 것은 제외)

(9)호텔 내 및 부지 내에서 다른 숙박객에게 폐를 끼치는 사진·동영상 촬영

(10)당 호텔의 허가없이 당 호텔 시설 내에서 영리·비영리에 상관없이 사업 목적의 사진·동영상을 촬영하는 행위, 또는 당 호텔 시설 내에서 촬영한 사진·동영상 등을 영리·비영리에 상관없이 공개하는 행위

12. 다음에 해당되는 조직, 개인에 대해서는 당 호텔 내의 제반 시설의 이용을 거절합니다.

(1) 일본의 법령인 “폭력단원에 의한 부당한 행위의 방지 등에 관한 법률”이 정하는 지정 조직폭력단 및 지정 조직폭력단연합 또는 그 구성원, 관계자, 기타 반사회적 세력(이하「반사회세력」이라 함)

(2)반사회세력이 사업 활동을 지배하는 법인 기타 단체 관계자

(3)폭행, 상해, 협박, 공갈, 위압적 부당 요구 또는 이에 유사한 행위를 행한 것이 인정되는 경우

(4)심신쇠약, 약물 등에 의한 자기 상실 등으로 자신의 안전 확보가 어려우며, 다른 숙박객에게 위험 및 공포감, 불안감을 느끼게 하는 우려가 있는 자

(5)당 호텔의 이용 규칙 및 기타 규칙 등의 위반에 대하여 당 호텔이 주의함에도 불구하고 즉시 그 행위를 멈추지 않는 자

13. 규칙의 변경에 대하여

(1)이 규칙은 일본의 민법상의 정형 약관에 해당하며, 이 규칙의 각 조항은 숙박 약관 제19조의 규정에 의거하여 변경될 수 있습니다.

(2)이 규칙의 변경은 규칙 변경의 취지와 변경 후의 내용 및 그 효력 발생일에 대하여 효력 발생일의 1개월 전까지 개별 통보 및 설명 대신 당 호텔이 지정하는 홈페이지에 공개하여 공개 시에 정한 효력 발생일부터 적용됩니다. 동시에 객실 내에도 비치합니다.

숙박약관

STITCH HOTEL Kyoto

제1조(적용 범위)

당 호텔이 숙박객과의 사이에서 체결하는 숙박 계약 및 이와 관련된 계약은 본 약관에 정하는 바에 의하는 것으로 하며, 본 약관에 규정되지 않은 사항에 관하여는 법령 또는 일반적으로 확립된 관습에 의하는 것으로 합니다.

2 당 호텔이 법령 및 관습에 반하지 않는 범위에서 특약에 응한 경우는 전항의 규정에 상관없이 그 특약을 우선하는 것으로 합니다.

제2조(숙박 계약의 신청)

당 호텔에 숙박 예약을 신청하고자 하는 자는 다음 사항을 당 호텔에 알려 주셔야 합니다.

- (1) 숙박자명
- (2) 숙박일 및 도착 예정 시각
- (3) 숙박 요금(원칙적으로 별표 제1의 기본 숙박료에 따름.)
- (4) 기타 당 호텔이 필요하다고 인전하는 사항

2 전항에 의거하여 당 호텔에 신청한 내용에 변경이 생긴 경우는 변경 후의 내용을 신속히 당 호텔에 알려 주셔야 합니다.

3 숙박객이 숙박 중에 제1항(2)의 숙박일을 초과하여 숙박을 계속할 의사를 제의한 경우, 당 호텔은 그 의사를 접수한 시점에서 새로운 숙박 계약을 신청하신 것으로 처리합니다.

제3조(숙박 계약의 성립 등)

숙박 계약은 당 호텔이 전항의 신청을 승낙하였을 때 성립하는 것으로 합니다. 다만 당 호텔이 승낙하지 않았음을 증명한 경우는 예외로 합니다.

2 전항에 따라 숙박 계약이 성립된 경우는 해당 숙박 계약 대상인 전 숙박 기간 분의 숙박 요금을 숙박 개시 전 또는 당 호텔이 지정하는 날까지 지불하셔야 합니다.

3 다음 각호에서 정하는 사유가 발생한 경우는 당 호텔은 해당 숙박객의 신청을 실제로 숙박할 의사가 없음에도 불구하고 신청한 것으로 취급할 수 있으며 숙박 계약은 그 효력을 상실하게 됩니다.

- (1)전항의 숙박 요금을 동항에서 정하는 바에 따라 숙박 개시 전 또는 당 호텔이 지정한 날까지 지불하지 않는 경우
- (2)전항 제1항에 의거하여 신청 시 기재된 연락처에 연락한 최초의 날부터 기산해서 10일 이내(다만 숙박일 당일까지의 일수가 이에 충족되지 않는 경우는 숙박일 당일 15시까지)에 연락이 닿지 않는 경우
- (3)당 호텔에서의 연락을 거부하신 경우

4 전항(2) 및 (3)에 해당되는 경우, 호텔이 수령한 숙박 요금은 환불되지 않습니다.

제4조(예약금의 지불을 필요로 하지 않는 특약)

전조 제2항의 규정에도 불구하고 당 호텔은 계약 성립 후 동항의 예약금 지불을 필요로 하지 않는 특약에 따르는 경우가 있습니다.

- 2 숙박 계약 승낙에 있어 당 호텔이 전조 제2항의 예약금의 지불을 요구하지 않는 경우 및 해당 예약금의 지불 기일을 지정하지 않는 경우는 전항의 특약에 따른 것으로 취급합니다.

제5조(숙박 계약 체결의 거절)

당 호텔은 다음에 해당되는 경우에는 숙박 계약의 체결에 응하지 않을 수 있습니다.

- (1)숙박 신청이 본 약관에 의하지 않는 경우
- (2)만실로 인해 객실에 여유가 없을 경우
- (3)재해 기타 긴급 사태 발생 등으로 재난자 및 재해 복구 담당자를 위하여 우선적으로 객실을 제공해야 하는 일이 현실적으로 예정되는 등 전항에 준한 사유가 있는 경우
- (4)숙박하고자 하는 자가 일본의 법령인 “폭력단원에 의한 부당한 행위 방지 등에 관한 법률” 및 조직폭력단 배제에 관한 도도부현 조례에서 정한 조직폭력단 혹은 조직폭력단 관계 단체 기타 반사회적 세력의 구성원 또는 그 관계자인 경우
- (5)숙박하고자 하는 자가 숙박에 관련하여 법령의 규정, 공공질서 또는 선량한 미풍양속에 반한 행위를 할 우려가 있다고 인정되는 경우
- (6)숙박하고자 하는 자가 특정감염증의 환자 등인 경우
- (7)숙박에 관하여 그 실시예 수반되는 부담이 과중하며 다른 숙박객에게 숙박 관련 서비스의 제공을 현저히 저해할 우려가 있는 요구로써 후생노동성령에서 정한 행위를 반복하였을 경우
- (8)천재지변, 시설의 고장, 그 외 부득이한 사유로 인해 숙박이 불가능한 경우
- (9)숙박하고자 하는 자가 다른 숙박객에게 폐를 끼치거나 당 호텔의 운영을 저해할 우려가 있는 경우, 또는 다른 숙박객 혹은 당 호텔의 종업원에 대하여 폐를 끼치는 언행을 한 경우
- (10)숙박하고자 하는 자의 심신상실 상태가 분명히 인정되는 경우
- (11)보호자의 허가가 없는 18세 미만자만이 숙박할 경우
- (12)숙박할 권리를 다른 사람에게 양도할 목적으로 숙박을 신청한 경우
- (13)실제로는 숙박할 의사가 없음에도 불구하고 숙박을 신청한 경우
- (14)기타 각종 법령 또는 도도부현 조례 등이 규정하는 숙박을 거절할 수 있는 경우에 해당되는 경우

제6조(숙박객의 계약 해지권)

- (1)숙박객은 당 호텔에 신청하여 숙박 계약을 해지할 수 있습니다.
- (2)당 호텔은 숙박객이 자신의 귀책 사유로 숙박 계약의 전부 또는 일부를 해지한 경우(제3조 제2항 규정에 따라 당 호텔이 예약금의 지불 기일을 지정해서 그 지불을 요구한 경우로 그 지불 전에

숙박객이 숙박 계약을 해지한 경우를 제외합니다.)는 별표 제2에 기재한 바에 따라 위약금을 청구합니다. 단, 당 호텔이 제4조 제1항의 특약에 응한 경우로서 그 특약에 응할 시 숙박객이 숙박 계약을 해지한 경우의 위약금 지불 의무에 대하여 당 호텔이 숙박객에게 고지한 경우에 한합니다.

(3) 당 호텔은 숙박객이 연락 없이 숙박일 당일의 오후 11시 30분(도착 예정 시각이 명시되는 경우는 그 시각을 2시간 경과한 시각)이 되어도 도착하지 않을 때는 그 숙박 계약을 숙박객이 해지한 것으로 간주하여 처리할 경우가 있습니다.

제7조(당 호텔의 계약 해지권)

당 호텔은 다음에 해당되는 경우에는 숙박 계약을 해지할 수 있습니다.

- (1) 숙박객이 일본의 법령인 “폭력단원에 의한 부당한 행위 방지 등에 관한 법률” 및 조직폭력단 배제에 관한 도도부현 조례에서 정한 조직폭력단 혹은 조직폭력단 관계자 기타 반사회적 세력의 구성원 또는 관계자인 경우
- (2) 숙박객이 당 호텔 내에서 폭행, 협박, 공갈, 부당한 요구, 도박 행위, 법령에서 허가되지 않는 약물, 총포, 도검류 및 유사품의 소지 혹은 사용, 다른 숙박객에게 폐를 끼치는 행위, 그 외 법령 또는 미풍양속에 반한 행위를 하거나 할 우려가 있는 경우
- (3) 숙박객이 특정감염증의 환자 등인 경우
- (4) 숙박에 관하여 다음에 정한 행위를 한 경우
 - ① 사전에 예약한 인원수 이상의 숙박객이 객실을 이용하거나 이용을 요구하는 행위
 - ② 사회통념상 수인 한도의 범위 내로 인정되는 사실, 또는 진위가 확실하지 않는 사실을 이유로 하는 숙박료의 면제 혹은 감액 요구 행위, 또는 객실 변경의 요구 행위
 - ③ 무례하거나 난폭한 언행 그 외 당 호텔 종업원의 심신에 불안 또는 공포를 느끼게 하는 언행을 반복하는 행위
 - ④ 당 호텔에서 통상적으로 제공하는 서비스 내용보다 과도한 대우를 요구하는 행위
 - ⑤ 객실 및 당 호텔 내의 시설의 적절한 사용 방법에 대하여 당 호텔 종업원이 반복해서 요청했음에도 불구하고 해당 요청에 응하지 않는 태도를 표시하는 행위
 - ⑥ 객실 및 당 호텔 내의 시설, 가구, 침구, 비품, 장식품을 고의 또는 중과실로 파손 혹은 오손하여 또는 부정하게 절취하는 행위
 - ⑦ 법률상의 의무 범위를 넘은 과도한 요구 행위(당 호텔의 과실을 원인으로 한 것을 포함)
 - ⑧ 전술한 사항 외, 그 실시예 수반되는 부담이 과중하며 다른 숙박객에게 숙박 관련 서비스의 제공을 현저히 저해할 우려가 있는 요구로써 후생노동성령에서 정한 행위를 반복하는 행위
- (5) 천재지변, 시설의 고장, 그 외 부득이한 사유로 인해 숙박이 불가능한 경우
- (6) 객실에서의 침대에서의 흡연, 소방용 설비 등에 대한 장난, 화재 예방, 방화에 지장을 끼치는 행위를 한 경우
- (7) 숙박할 권리를 양도, 또는 양도하려고 한 경우
- (8) 숙박 계약의 체결이 여행사를 통해 실시된 경우에 있어서, 해당 여행사에서의 숙박 요금의 지불이 확인 되지 않는 경우. 참고로 숙박 요금의 지불이 확인되지 않는 경우란 지불이 금융 기관의 창구 영업 시간 종료 직전에 계좌이체 혹은 금융 기관의 영업 시간에 상관없이 인터넷 뱅킹 등을 통한 은행 거래 방법으로 실행했음에도 익일이 금융 기관이 휴무일 때문에 당일에 계좌이체한 사실이 확인되지 않는 경우를 포함합니다.
- (9) 본 약관 또는 당 호텔의 이용 규칙에 위반한 경우
- (10) 기타, 각종 법령 또는 도도부현 조례 등이 규정하는 숙박을 거절할 수 있는 경우에 해당되는 경우

2 전항에 의거한 해지 통보는 구두 또는 제2조에 의하여 신청 시에 기재된 숙박객의 연락처로 전화, 전자메일 또는 서면으로 통보하는 것으로 하여 해당 통보가 제2조에 의하여 신청 시에 기재된

연락처로 통보하여도 도착하지 않을 경우에는 제3조 제3항 규정을 적용하는 것 외 통상적으로 도착해야 할 기간을 경과한 시점에 도착한 것으로 취급할 수 있습니다.

3 당 호텔이 전항 2항 규정에 의거하여 숙박 계약을 해지한 경우는 제1항(3) 및 (5)의 경우를 제외해서 숙박 요금은 환불되지 않습니다.

4 숙박객이 제1항(4)⑥에 해당하여 당 호텔에 손해가 발생한 경우는 숙박객은 손해배상금(수리대금 상당액 및 영업이 불가한 경우의 영업보상금)을 당 호텔에 지불하셔야 합니다.

제8조(숙박의 등록)

숙박객은 숙박 당일 당 호텔 프론트에서 다음 사항을 등록해야 합니다.

- (1)숙박객의 성명, 연령, 성별, 주소 및 연락처
- (2)외국인은 국적, 여권번호, 입국지 및 입국년월일
- (3)출발일 및 출발 예정 시각
- (4)전박지 및 목적지
- (5)기타 당 호텔이 필요하다고 인정하는 사항

2 숙박객이 제12조 요금의 지불을 숙박권, 신용카드 등 통화를 대신하는 방법으로 지불하고자 할 경우는 미리 전항 등록 시에 이를 제시해야 합니다.

제9조(객실의 사용 시간)

당 호텔의 객실 사용 시간은 체크인 시각부터 익일 체크아웃 시각까지입니다. 다만 연속해서 숙박할 경우는 도착일 및 출발일을 제외하고 종일 이용 가능합니다.

2 당 호텔은 전항 규정에 상관없이 동항에서 정한 시간 외의 객실 사용에 응하는 경우가 있습니다. 이 경우에는 객실 내 게시물 및 태블릿 등에 게시된 추가 요금이 청구됩니다.

제10조(이용 규칙의 준수)

숙박객은 당 호텔에서는 당 호텔이 정하고 호텔 내에 게시한 이용 규칙을 따르셔야 합니다.

제11조(영업시간)

당 호텔의 주된 시설 등의 영업시간은 호텔에 비치 및 곳곳에 게시물 또는 태블릿 등으로 안내해 드립니다.

2 전항의 시간은 필요상 부득이한 경우에는 임시로 변경될 수 있습니다. 그 경우에는 적절할 방법을 통해 알려 드립니다.

제12조(요금의 지불)

숙박객이 지불해야 하는 숙박 요금 등의 내역 및 그 산출 방법은 별표 제1에 기재된 바에 따릅니다.

2 숙박 요금 등의 지불은 통화 또는 당 호텔이 인정한 숙박권, 신용카드 등 이를 대신할 수 있는 방법으로, 숙박객이 체크인 또는 당 호텔이 청구 시에 지불해야 합니다.

3 당 호텔이 숙박객이 객실을 제공하여 사용이 가능해진 후 숙박객이 임의로 숙박하지 않은 경우에도 숙박 요금은 청구됩니다.

제13조(당 호텔의 책임)

당 호텔은 숙박 계약 및 이와 관련되는 계약 불이행, 또는 불법 행위로 인해 숙박객에게 손해를 입힌 경우 당 호텔에 고의 또는 중과실이 있는 경우에만 그 손해를 배상합니다.

2 당 호텔은 전항의 손해에 대처하기 위해 여관배상책임보험에 가입하고 있습니다. 다만 보험 계약 상의 면책 사유에 해당되는 경우는 숙박객이 입은 손해가 배상되지 않는 경우가 있습니다.

제14조(계약한 객실을 제공할 수 없는 경우의 조치)

당 호텔은 숙박객에게 계약한 객실을 제공하지 못한 경우는 숙박객의 양해를 얻어 최대한 동일 조건의 다른 숙박 시설을 알선하는 것으로 합니다.

2 당 호텔은 전항 규정에 상관없이 다른 숙박 시설을 알선하지 못할 경우는 위약금 상당액의 보상료를 숙박객에게 지불하여 그 보상료는 손해 배상액으로 충당합니다. 다만 객실을 제공하지 못한 이유가 당 호텔의 귀책 사유가 아닌 경우는 보상료를 지불하지 않습니다.

제15조(기탁물 등의 취급)

숙박객이 프론트에 맡긴 물품 및 현금 또는 귀중품에 대하여 명실, 훼손 등의 손해가 발생한 경우는 그것이 불가항력인 경우를 제외하고 당 호텔은 5만엔을 상한으로 그 손해를 배상합니다. 다만, 현금 및 귀중품에 대해서는 숙박객이 그 종류 및 가격을 명확히 고지하지 않는 경우는 당 호텔을 그 손해를 배상하지 않습니다.

2 숙박객이 당 호텔 내에 반입한 물품, 현금 또는 귀중품에 대하여 명실, 훼손 등의 손해가 발생한 경우 프론트에 맡기지 않았던 물품들은 당 호텔에 고의 또는 중과실이 없는 한 명실, 훼손 등의 손해가 발행하여도 당 호텔은 책임을 지지 않습니다.

제16조(숙박객의 수하물 또는 휴대품의 보관)

숙박객의 수하물·휴대품이 숙박에 앞서 당 호텔에 도착한 경우는 그 도착 전에 당 호텔이 허락한 경우에만 책임 하에 보관하여 숙박객이 프론트에서 체크인 할 때 전달드립니다.

2 숙박객이 체크아웃한 후 숙박객의 수하물 또는 휴대품이 당 호텔에 잊어버리고 두고간 경우에만 그 소유자가 판명된 경우 당 호텔은 해당 소유자에게 연락함과 동시에 그 지시를 받습니다. 다만 소유자의 지시가 없는 경우 또는 소유자가 판명되지 않는 경우는 발견일을 포함하여 3일 동안 보관 후 가까운 경찰서에 신고합니다. 그 외 물품은 당 호텔의 재량에 따라 적절하게 처분합니다. 다만 소모품 및 음료, 식품류 기타 위생 환경을 손상시키는 물품, 신문·잡지, 우산, 기타 폐기물로 판단된 물품은 신속히 당 호텔의 절차에 따라 처분합니다.

3 전 2항의 경우의 숙박객의 수하물 또는 휴대품 보관에 대하여 당 호텔의 책임은 제1항의 경우에는 전조 제1항의 규정에, 전항의 경우에는 동조 제2항의 규정에 준합니다.

제17조(주차의 책임)

숙박객이 당 호텔의 주차장을 이용하시는 경우 차량 키의 기탁 여부에 상관없이 당 호텔은 주차 장소를 빌리는 것으로 차량의 관리 책임은 지지 않습니다. 다만 주차장 관리에 있어서 당 호텔의 고의 또는 과실에 의해 손해를 입힌 경우는 배상 책임을 집니다.

2 당 호텔은 당 호텔이 관리하지 않는 제휴 주차장 내에서의 차량 그 부속 장착물 또는 적재물의 도난, 분실, 훼손에 대해 일체의 책임을 지지 않습니다.

제18조(숙박객의 책임)

숙박객의 고의 또는 과실로 인해 당 호텔이 손해를 입은 경우는 해당 숙박객은 당 호텔에 그 손해를 배상해야 합니다.

제19조(본 약관·이용규칙의 변경)

본 약관 및 이용규칙(이하 본 약관이라 함)은 일본의 민법 제548조의 2제 1항에 정하는 정형 약관에 해당하며, 당 호텔은 다음 경우에 당 호텔의 재량에 따라 본 약관 등을 변경할 수 있습니다.

(1)본 약관의 변경이 숙박객의 일반 이익에 적합할 경우

(2)본 약관 등의 변경이 계약한 목적에 반하지 않고 변경의 필요성, 변경 후의 내용의 상당성 기타 변경에 관련되는 사정을 고려하여 합리적인 경우

2 전항에 따라 당 호텔이 본 약관 등을 변경할 경우 본 약관 변경의 취지와 변경 후의 내용 및 그 효력 발생일에

대하여 효력 발생일의 1개월 전까지 개별 통보 및 설명을 대신하여 당 호텔의 홈페이지에 공개합니다.

3 변경 후의 본 계약 등의 효력 발생일 이후에 숙박객이 본 약관 등에 따라 당 호텔의 서비스를 이용한 경우는 본 약관의 변경에 동의한 것으로 간주합니다.

제20조(재판관할 및 준거법 등)

숙박객과 당 호텔과의 숙박 계약에 관련하여 발생한 모든 분쟁에 관한 재판 관할을

동경지방법재판소 또는

동경간이재판소를 제1심 전속적 합의 관할 재판소로 합니다.

2 숙박객과 당 호텔과의 숙박 계약은 일본법에 준거하여 일본법에 따라 해석되는 것으로 합니다.

3 숙박 약관이 복수 언어로 작성되는 경우에 각 숙박 약관의 기재에 불일치 또는 모순 기타 저촉이 생긴 경우는 일본어 표기의 숙박 약관의 기재 내용을 우선하는 것으로 합니다.

별표 제1 숙박 요금의 내역(제2조 제1항 및 제12조 제1항 관계)

	내역	
지불해야 하는 총액	숙박요금	① 기본 숙박료(실료(및 객실료+조식 등의 음식료)
	추가요금	② 추가 음식(①에 포함되는 것을 제외)및 부대 시설의 이용 요금 ③ 기타 이용 시설이 정하는 서비스료 등
	세금	소비세 입탕세(온천지만) 숙박세(해당지만)

비고

기본 숙박료는 프론트·팸플릿에 제시하는 요금표를 따릅니다.
세법이 개정된 경우는 개정된 규정에 따른 것으로 합니다.

별표 제2 위약금(제16조 관계)

숙박자수	노쇼 <u>31일</u> 전까지	30일 전부터 <u>당일</u>	당일 <u>전날</u>	노쇼 <u>6일전</u>	<u>20일전</u>
<u>1~6명</u>	<u>100%</u>	<u>100%</u>	<u>20%</u>		
<u>7~10명</u>	<u>100%</u>	<u>100%</u>	<u>50%</u>	<u>10%</u>	
4~6 <u>11명 ~</u>	<u>100%</u> 0%	100%	80 <u>100%</u>	50 <u>100%</u>	

(주의)

%는 기본 숙박료에 대한 위약금의 비율입니다.

예약한 플랜 및 여행사 경유 등에 따라 상기 내용과는 다를 수 있습니다.

제정일 : 2025년 6월 30일
STITCH HOTEL Kyoto